

No.	013	—	2001	事務事業名	中山間地域等直接支払事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	22年度～26年度					
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	1 農業の振興	主要施策	(2) 農業生産基盤の充実						
	事業の対象	一定の基準を満たす中山間地域の農地を対象とし、集落協定等に基づき5年間以上継続して農業生産活動を行う農業者等。				根拠法令	中山間地域等直接支払交付金実施要領等						
	事業の目的	最終的	担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保することを目的としています。			今年度	昨年の中間年評価を受けて、的確な助言を行いつつ、新制度の周知や協定最終年度に向けた準備を行います。						
	活動内容	①	集落協定に基づく耕作放棄地の発生防止活動の支援			④	集落協定に基づく体制整備に向けた積極的取組の支援						
		②	集落協定に基づく水路・農道等の維持管理活動の支援			⑤							
		③	集落協定に基づく多面的機能増進活動の支援										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定ができません。		協定農用地面積		m ²	目標						
					実績	5,021,016	5,015,555						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業				費			
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	69,296 千円	69,169 千円	69,518 千円	中山間地域等直接支払事業 第1期H12～H16(5年間) 第2期H17～H21(5年間) 第3期H22～H26(5年間)							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	241 千円	126 千円								
		一般財源	23,549 千円	23,383 千円	23,556 千円								
		計(A)	92,845 千円	92,793 千円	93,200 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.950 人 5,737 千円	0.950 人 5,747 千円	0.950 人 5,789 千円								
		臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円								
	全体事業費(A+B)		98,582 千円	98,540 千円	98,989 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	中間年評価の調査により、協定を結んでいる農業者は制度の必要性を強く訴えており、高齢化等により国土の保全、多面的機能の低下が特に懸念されているなかで、耕作放棄の発生を防止、多面的機能確保のためにも必要であると考えられます。												
有効性	1期協定が5年間という継続した事業であり、類似するような事業がないため、期間内は耕作放棄の発生を防止、多面的機能の確保に効果があります。												
達成度	事業の性質上、指標設定ができませんが、対象農用地において耕作放棄地は発生していないため、事業目標は達成していると考えられます。												
効率性	交付金は協定農用地の面積に応じて算出しています。また、中山間直接支払制度のシステムを導入して、効率的な運用及び人件費等のコスト削減に努めています。												
当面の課題	中間年評価により、集落協定を結んでいる農業者は制度の必要性を強く訴えており、農業の保全を図る上で事業効果は大きいと考えるが、依然として高齢化等による協定農用地面積縮小の可能性がります。												
改革計画	中間年評価により、協定集落の状況把握が出来たことから、後継者や新しい担い手を育成するためにも人・農地プランの活用や的確な助言を行い、農業生産活動等の維持を図ります。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	耕作放棄地の防止を目的に、条件の悪い中山間地域にある農地を維持管理することを条件としている。適性かつ円滑な実施を促進して欲しい。												

No.	013	—	2011	事務事業名	農村環境改善センター維持管理業務	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(1) 農業振興施策の総合的推進				
	事業の対象	農業者、農業関係者				根拠法令	東温市農村環境改善センター条例						
	事業の目的	最終的	農林業の振興及び生活環境の改善、合理化並びに地域連帯感の醸成等を図り、農村の環境整備を効果的に推進します。			今年度							
	活動内容	①	使用申請受付・許可書発行			④	修繕事務						
		②	ガス・水道・電気メーター検針及び料金支払			⑤							
		③	施設警備、消防設備点検、下水道維持管理、特殊建築物定期調査、植木剪定、電気保安業務委託事務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定ができません。				目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	昭和63年に竣工され、JAえひめ中央農業協同組合と併設した特殊な建築物です。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	1,213 千円	421 千円	574 千円								
		一般財源	1,809 千円	1,267 千円	1,843 千円								
	計(A)	3,022 千円	1,688 千円	2,417 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.170 人	1,027 千円	0.170 人	1,028 千円	0.170 人	1,036 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		4,049 千円		2,716 千円		3,453 千円							
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	農業者や農業関係者を利用対象としている東温市唯一の施設ですが、対象者の利用頻度は建築当時に比べて低く、現在の事業運営方法に改善の余地があり検討が必要です。												
有効性	各種集会や講演会等を行える会議室、農業生産物を加工するための調理室等も整備されており、利便性は高いものの、老朽化等による修繕箇所が増加しています。												
達成度	対象者の会議や講習会は合併後、他施設(市庁舎や中央公民館)を利用することが多く、調理室も含めて利用率は低下しています。												
効率性	建築後長期間が経過し、修繕箇所が発生していますが、予算の範囲内で効率よく修繕等実施しています。												
当面の課題	施設に関しては現状維持が必要ですが、施設の老朽化のため修繕費用が増加しています。施設利用頻度は減少しているため、事業運営方法に改善を講じる必要があります。												
改 革 画	予算の範囲内で施設の修繕等を行い、今後も適切な維持管理に努める必要があるが、改善方法を検討していきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	利用者が低迷しています。事業目的に沿って、利用者を増やし、維持・管理する事が必要です。												

No.	013	—	2014	事務事業名	市単独土地改良事業補助金事務	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	24年度～28年度					
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	1 農業の振興	主要施策	(2) 農業生産基盤の充実						
	事業の対象	共同活動支援（農地、農業用水、農村環境等の保全向上活動）22地区 向上活動支援（共同活動支援地域内で行う施設の長寿命化）4地区 愛媛県農村環境保全向上活動支援協議会				根拠法令	東温市農村環境保全向上活動支援事業補助金交付要綱						
	事業の目的	最終的	地域住民など多様な主体の参画を得ながら地域共同で取組む農村環境等の保全活動及び農村環境等の将来にわたる適切な保全管理と地域住民共助活動の促進による農村地域の活性化を図る。				今年度						
	活動内容	①	農業者やその他の地域住民を中心とし、地域が一体となって農用資源の適切な保全管理や農村環境向上を行う活動組織に対し、地域協議会を経由して交付金を交付する				④						
		②	愛媛県農村環境保全向上活動支援協議会及び市の推進事業について補助金を交付及び受領する				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
				事務事業の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備 考							
		国・県支出金	14,825 千円	14,964 千円	11,009 千円	平成23年度より農地・水・環境保全向上対策は農地・水保全管理支払交付金となり、営農活動支援交付金が分離して環境保全型農業直接支援事業となり、代わりに、向上活動支援交付金が追加され、以降、従来の共同活動支援交付金と追加した向上活動支援交付金を計上しています。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	132 千円	132 千円								
		一般財源	15,006 千円	15,142 千円	11,302 千円								
	計(A)	29,831 千円	30,238 千円	22,443 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.430 人	2,597 千円	0.430 人	2,601 千円	0.430 人	2,620 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		32,428 千円		32,839 千円		25,063 千円							
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	国策事業として農地・農業用水等の資源や農村環境を守り、質を高める地域共同の取組を支援する必要があります。												
有効性	資源の適切な保全管理を行うとともに農村環境の保全等にも役立つ地域共同の効果の高い取組を促進することができます。												
達成度	農地・農業用水等の資源を活用して行う生態系保全、水質保全、景観形成等の農村環境を向上させています。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	地域で様々な人々の参画を呼びかけていかなくは、農地や農業水路などの農業関連施設の保全・管理がままならなくなってしまいます。												
改革計画	地域資源に誇りを持ち、地域が一体となって地域の農業関連施設を保全・向上していくことの大切さについて理解を深める必要があります。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	地区によっては、事業を中止した所、成果が十分に上がっていない地区もあることから、事業内容の充実が必要です。事務処理申請・報告の簡素化を要望しつづけて欲しい。												

No.	013	—	2018	事務事業名	森林病虫害等防除事業	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(1) 計画的な森林整備の推進				
	事業の対象	塩ヶ森ふるさと公園の松林 (3ha)				根拠法令	東温市森林整備計画						
	事業の目的	最終的	松くい虫の被害から守るため、防除薬剤の地上散布を実施するとともに枯れてしまった松の伐倒整備を行い、駆除薬剤を散布することで被害の拡大を防ぎます。松枯れを防ぐことにより、景勝地として維持し、また水源かん養や崩落防備等の防災機能を維持することができます。				今年度						
	活動内容	①	松くい虫防除薬剤の地上散布を実施します。				④						
		②	枯れた松の伐倒整備を行い、松くい虫駆除薬剤の散布を行います。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標		
				事業の性質上、指標設定になじまない。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費			
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	365 千円	365 千円	250 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	121 千円	163 千円	163 千円								
		計(A)	486 千円	528 千円	413 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.042 人 254 千円	0.042 人 254 千円	0.042 人 256 千円								
臨時職員工数・経費		0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円									
全体事業費(A+B)		740 千円	782 千円	669 千円									
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市の財産である塩ヶ森ふるさと公園の松林を守り、また松林の持つ防災機能を維持するために必要な施策であると考えます。薬剤等についても人体に影響のないものを用いています。												
有効性	松林を枯らさずに残すことができ、施策の目的を実現するためには有効な事業です。												
達成度	地上散布業務を行うことで、松林の松枯れの被害拡大を防ぐことができ、十分目標は達成できています。												
効率性	地上散布は年に1回、伐倒駆除は松の枯れ具合を見て必要最低限の回数で実施しており、必要最小限のコストと人員で効果を上げています。												
当面の課題	地上散布・伐倒駆除以外に、松林を保全・維持していくために、他の方法を模索し、合わせて実施して必要があると考えます。												
改計画	松くい虫に耐性のある松への更新、土壌の改良などを検討していく。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	松枯れを防ぐ事で、景勝地としての風致機能が維持出来る他、水源かん養や崩落防備等の防災機能も維持できるので推進して欲しい。												

No.	013	—	2022	事務事業名	森林ボランティア事業	細事務事業名		公的関与	8						
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp							
	事業区分	ソフト事業	事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし						
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	2 林業の振興	主要施策	(1) 計画的な森林整備の推進								
	事業の対象	市民				根拠法令									
	事業の目的	最終的	森林ボランティア活動を通じて、森林のもつ公益的機能についての理解を深めるとともに、森とのふれあいにより、森づくりの輪を広げていきます。				今年度								
	活動内容	①	抵抗性松の植樹				④	木質ペレットづくり							
		②	椎茸の植菌				⑤	枝打ち							
		③	杉・桧の間伐												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標					
		森林ボランティアの活動人数	参加人数	人	目標			(スタッフを除いて)60	70						
実績					(スタッフを除いて)22	(スタッフを除いて)52									
				目標											
				実績											
				目標											
	実績														
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業		費							
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考									
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	平成23年度は、土連の委託事業として、実施されたため、市の支出はありませんでした。									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円										
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円										
		一般財源	0 千円	324 千円	379 千円										
	計(A)	0 千円	324 千円	379 千円											
人件費(B)	正職員工数・経費	0.043 人	260 千円	0.043 人	260 千円	0.043 人	262 千円								
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		260 千円	584 千円	641 千円											
CHECK・ACTION	一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	近年高まりつつあるボランティア・エコへの市民の関心の受け皿として、市が主体となって活動を行うことは必要と考えます。													
	有効性	目的の達成のため、市が適切な内容を決定する今の事業方法が有効です。													
	達成度	概ね達成できていると考えておりますが、さらに参加人数が増えるように取り組んでいきます。													
	効率性	他の自治体の取り組みを参考にし、他の関係機関と協力することで、より効果を挙げられるよう検討していきます。													
	当面の課題	昨年度の参加人数は増加したが、今後更に増加するように、ボランティアの内容、特に告知方法等について、もっと工夫が必要と考えます。													
	改画	他の関係機関の取り組みを参考にして、周知範囲を小中学生から更に拡大し、幼稚園・保育所など、親子連れでの参加を検討中です。													
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実		
二次評価での指摘事項	ボランティア活動を通じて、森林の持つ公益的機能についての理解を深めるとともに、森とのふれあいにより市民参加の森づくりの輪を広げてください。														

No.	013	—	2025	事務事業名	有害鳥獣捕獲事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(1) 計画的な森林整備の推進				
	事業の対象	市内の山林及び山林に隣接する農地及び農作物				根拠法令							
	事業の目的	最終的	有害鳥獣による被害が深刻化しており、その被害を最少限に抑えるため、有害鳥獣捕獲活動及び農林地への侵入防止対策を実施します。			今年度							
	活動内容	①	有害鳥獣(野猿、猪、鹿、カラス)の捕獲事業			④							
		②	農林地等侵入防止施設の整備事業			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		有害鳥獣の捕獲数		農作物被害を起こしうる鳥獣を捕獲した数		頭・羽	目標 実績	目標は定めておりません 実績 猿43,猪81,鹿63,カラス34	目標は定めておりません 実績 猿88,猪104,鹿58,カラス18	目標は定めておりません			
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	703 千円	860 千円	800 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	4,755 千円	5,082 千円	5,457 千円								
	計(A)	5,458 千円	5,942 千円	6,257 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.113 人 682 千円	0.113 人 684 千円	0.113 人 689 千円								
臨時職員工数・経費		0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円									
全体事業費(A+B)		6,140 千円	6,626 千円	6,946 千円									
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民の農作物等への被害を食い止めるために、必要な施策です。												
有効性	事業を行うことで、被害を未然に防ぎ、拡大を最少限に抑えている点から有効です。												
達成度	侵入防止策については、現地視察でも周囲の農地と比べ被害が少なく、目的は達成できていると考えます。捕獲事業については、被害を抑えるというよりは現状維持に留まっており、新たな策を講じる必要があります。												
効率性	生息数に伴い捕獲数が年々増加してきており、適切な捕獲を継続するため、捕獲奨励金や補助金の見直し等が必要と考えます。												
当面の課題	鳥獣の行動範囲が銃器の使用できない市街地の近くまで広がってきており、被害、目撃の情報が寄せられてもすぐさま捕獲を行うことが出来ない場面が出てきています。また近年は猿による被害が多くなっています。												
改画	捕獲だけではなく、地域とも連携した総合的な取り組みを実施していきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	鳥獣被害防止特措法に基づく、被害防止計画に基づき捕獲・防護柵の設置といった実践的活動を進める為、「鳥獣被害対策実施隊」を設置する条例を検討願いたい。												

No.	013	—	2030	事務事業名	環境保全型農業直接支援事業	細事務事業名	補助金交付・申請受付報告・現地確認・実績報告事務	公的関与	9				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	23年度～27年度					
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	1 農業の振興	主要施策	(1) 農業振興施策の総合的推進						
	事業の対象	① 農業者（法人を含む） ② 共同販売経理を行う集落営農 ③ 農業者グループ				根拠法令	東温市環境保全型農業直接支援事業補助金交付要綱						
	事業の目的	最終的	意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、国内農業の再生を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進します。			今年度							
	活動内容	①	化学肥料、化学合成農薬の5割低減の取組とカバークロープの作付を組み合わせた取組を行う農業者に対し交付金を交付します。			④	有機農業の取組(化学肥料、農薬を使用しない取組)を行う農業者に対し交付金を交付します。						
		②	化学肥料、化学合成農薬の5割低減の取組とリビングマルチ又は草生栽培を組み合わせた取組を行う農業者に対し交付金を交付します。			⑤							
		③	化学肥料、化学合成農薬の5割低減の取組と冬期湛水管理を組み合わせた取組を行う農業者に対し交付金を交付します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		(事業の性質上、指標設定になじまない。)				目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	643 千円	917 千円	260 千円	平成23年度より農地・水・環境保全向上対策の営農活動支援交付金が分離して環境保全型農業直接支援事業となった。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	671 千円	917 千円	290 千円								
	計(A)	1,314 千円	1,834 千円	550 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.021 人 127 千円	0.021 人 127 千円	0.021 人 128 千円								
臨時職員工数・経費		0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円									
全体事業費(A+B)		1,441 千円	1,961 千円	678 千円									
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	国策事業として、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して支援する必要があります。												
有効性	地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献できます。												
達成度	要件を満たし、販売を目的として生産を行う農業者等が支援の対象となります。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくことが必要となっています。												
改訂計画	農業者に対して環境保全効果の高い営農活動に取り組む周知を行います。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	制度の見直しにより、利用の難しい支援事業となり、現在は有機農業者のみの利用となっていますが、地球温暖化防止や生物多様性保全の効果の高い営農活動に広く、積極的に普及啓発を行って下さい。												

No.	013	—	2031	事務事業名	地域農業再生協議会事務	細事務事業名		公的関与	9				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	23年度～年度	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	1 農業の振興	主要施策	(4) 農作物の計画的な生産と生産性の向上促進						
	事業の対象	販売目的で農作物を生産（耕作）する販売農家・集落営農組織				根拠法令							
	事業の目的	最終的	販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象として、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るとともに、麦・大豆等への作物転換を促す。				今年度						
	活動内容	①	経営所得安定対策に関する推進事務				④	農業経営改善計画認定に関する審査事務					
		②	認定農業者経営改善支援事業に関する事務				⑤	農地利用集積円滑化事業に関する事務					
		③	耕作放棄地再生利用緊急対策に関する事務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
				事業の性質上、指標設定は不可		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	4,573 千円	7,069 千円	5,700 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		計(A)	4,573 千円	7,069 千円	5,700 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.900 人	5,435 千円	0.900 人	5,444 千円	0.900 人	5,485 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		10,008 千円		12,513 千円		11,185 千円							
一次評価者	農林振興係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	対象農家の経営安定を図るために必要なサービスであり、市内約2,600戸の農家のうち、約700件の農家が加入している事業なども存在するため、継続していく必要がある。												
有効性	原則として国や県の方針に基づき、各事業内容が決定されているため、実施事業の有効性は判断できない。												
達成度	事業の周知は継続しているが、各事業への加入者に目立った変化はみられない。												
効率性	市職員の農業知識には限りがあり、県や農協等との連携をより強固にすることで、事業の効率化やサービスの質の向上が期待される。												
当面の課題	交付金事業等申請者の増加を図るため、迅速な事業周知、職員の対応力の向上が必要である。												
改革計画	現在行っている事業周知を継続すると同時に、県や農協との情報交換を密に行い、新規事業を含む協議会管轄事業への対応力を身につける。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	この制度は、国家戦略として食料の自給率向上と米の生産調整、食料の安定供給を目指すものであるため、国、県と連携して支援してほしい。												

No.	013	—	2034	事務事業名	人・農地プラン作成事業	細事務事業名	人・農地プラン作成事業	公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	24年度～年度	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(2) 農業生産基盤の充実				
	事業の対象	集落、地域、地区等				根拠法令	人・農地問題解決推進事業実施要綱						
	事業の目的	最終的	地域の中心となる経営体(個人、法人、集落営農)の確保や、地域の中心となる経営体への農地集積に必要な取組を支援することにより、農業の競争力・体質強化を図り、持続可能な農業を実現する。			今年度	集落・地域での徹底的な話し合いにより、地域農業のあり方について議論を進め、地域農業を担う経営体や生産基盤となる農地を、将来においても確保していくための展望を作る。						
	活動内容	①	今後の地域の中心となる経営体(個人、法人、集落営農)はどこかの話し合いを行う。			④	以上を定めた人・農地プランを作成及び更新するための事務を行う。						
		②	地域の中心となる経営体へどうやって農地を集めるかの話し合いを行う。			⑤							
		③	地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者(兼業農家、自給的農家)を含めた地域農業のあり方の話し合いを行う。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費			
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	890千円	890千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	0千円	0千円								
		計(A)	0千円	890千円	890千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.210人	1,270千円	0.700人	4,266千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		0千円	2,160千円	5,156千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	集落・地域での話し合いにより、地域農業のあり方について議論を進め、地域農業を担う経営体や生産基盤となる農地を、将来においても確保していく必要があります。												
有効性	地域の中心となる経営体(個人、法人、集落営農)の確保や、地域の中心となる経営体への農地集積に必要な取組を支援する。												
達成度	平成24年度は青年就農給付金対象者を優先して作成を行ったが、平成25年度は東温市全域をカバーできるよう作成していく。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	地域農業の将来のため、地域内の多くの農家が参加し、プランの作成を行う必要がある。												
改計画	県、市、JAが連携してこの事業に対応していく。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」があり、5年・10年後の展望が描けない地域が増えています。プランの作成や就農者の増加、農地の集積を期待します。												

No.	013	—	2035	事務事業名	青年就農給付金事業	細事務事業名	青年就農給付金事業	公的関与	9				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	24年度～年度 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	1 農業の振興	主要施策	(3)担い手の育成・確保						
	事業の対象	独立・自営就農時の年齢が、原則45歳未満であり、農業経営者となることについての強い意欲を有している者				根拠法令	新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱 東温市青年就農給付金交付要綱						
	事業の目的	最終的	持続可能な力強い農業の実現に向け、新規就農するにあたり、就農前後の青年新規就農者に対する給付金を給付します。			今年度	新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間150万円を給付します。						
	活動内容	①	給付対象者への面接、協議、話し合い等を行う			④	給付金を給付している期間において、計画的な就農ができてい かどうか実施状況の確認を行う。						
		②	経営開始計画の内容について審査等を行う。			⑤							
		③	給付対象者へ青年就農給付金を交付する										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業費			費				
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備 考							
		国・県支出金	0 千円	3,750 千円	11,250 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	3,750 千円	11,250 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.210 人	1,270 千円	0.300 人	1,828 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		0 千円	5,020 千円	13,078 千円									
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年の新規就農者及び経営継承者を大幅に増加させる必要があります。												
有効性	地域農業の今後の中心となる青年就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る必要があります。												
達成度	原則45歳未満で、人・農地プランに位置付けられ、その他様々な給付要件をクリアした方のみが受けられます。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	新規就農や経営継承をするに当たっては、技術の習得や所得の確保等が必要と思われる。												
改 革 画	この給付金を有効活用し、設備投資や経営改善に努めてもらう。以降は関係機関が協力してバックアップを行っていく。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	後継者不足や高齢化が進む地域農業の、今後の中心となる若い農業後継者の確保に努めてください。												